

日本共産党

反対

○一般会計、2特別会計に反対、他は賛成

▽公共施設附帯駐車場の有料化が昨年度も続きました。新型コロナウイルスの影響が小さくなり、改めて人や地域のつながりの大切さが再認識されていますが、ここ1年でも無料の1時間以内の利用が約半数となっている施設が多くあります。負担を強いることは、市民活動を縮小させ、市民はもとより市の将来にとっても大きな損失になります。

▽家庭系ごみ有料化も継続されました。5年前に有料化が始まった後、新型コロナウイルス禍、異常な物価高、公共施設駐車場有料化で市民生活が圧迫されています。連続負担増の先駆けとなった家庭系ごみの有料化は認められません。

▽市立図書館の運営ではカルチュア・コンビニエンス・クラブ社や共同事業体による指定管理が継続されました。5年間という短期間の指定管理期間で、営利を追求せざるを得ない民間企業に公立図書館の運営を任せる指定管理者制度を適用することは、中長期的な視点で地域の文化、地域の拠点としての発展や継続性が保障できません。

▽国民健康保険の都道府県化により、市の一般会計からの繰り入れをにくくする仕組みが導入され、結果的に住民に負担が転嫁されています。しかし市が独自に公費を繰り入れることは可能です。繰り入れを行うべきです。

▽高齢者を別枠の医療保険に囲い込んで、負担増を押し付ける後期高齢者医療制度はやめるべきです。高齢者・国民の負担軽減を、市が国に強く求めるべきです。

▽マイナンバー制度の普及促進に伴う市のシステム改修が昨年度も行われました。国が導入し、強力に推進している制度ですがトラブルが多く、個人情報保護の観点からこの制度を認める訳にはいきません。



市立中央図書館

涼風の会

反対

○一般会計、介護保険事業特別会計に反対、他は賛成

▽市役所周辺地区の市街化区域編入などの開発事業が着々と進んでいます。田んぼをなくして住宅や商業施設を造ることに多くの市民が疑問を持っています。頻発する大規模災害に備えることと合わせ、高齢者が安心して出歩けるためのベンチやトイレの設置、緑の多い公園など、市民の多様な声を聞いたまちづくりを求めます。

▽保育園待機児童問題では、多くの方が保活に疲弊し何らかの希望を諦めざるを得ない状況に陥りました。令和6年度に公設民営の保育園整備を決定しましたが、事態を重く見ていればもっと早い対応が可能で、市立門沢橋保育園廃園の見直しや、他市が行っている送迎保育ステーションなども含めた保育園事業の大胆な転換はできたはずですが、

▽わかば会館の重度障がい者ケアセンターの移転について、令和5年度中に利用者家族への説明会が何度も開かれていましたが、納得の行く説明や信頼関係ができていない中で設計スケジュールが進められたことは大変遺憾です。今後の誠意ある対応を改めて求めたいと思います。

▽実質収支額のうち約8億5千万円の剰余金は、今後の財源になりますが、何かの事業費としても使えたということとです。決して大きい額ではないことは理解していますが、生活者への直接的な支援や、給食費の一部無償化などは実施できたことを指摘せざるを得ません。今後のさらなる生活者への支援について強く求めたいと思います。

▽第8期の介護プラン改定時に、介護保険給付費等準備基金をもっと使えば据え置きや引き下げも可能だったはずの介護保険料を引き上げました。結果的に基金は過去最大に積み上がり、無用な負担増はやめるべきです。



わかば会館

立憲民主えびな

賛成

○全会計の決算に賛成

▽環境基本計画推進事業では、太陽光発電などの環境配慮設備への助成によりゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みがなされたと理解しています。

▽放置自転車対策事業では、まちの美観や環境面での問題に対して、撤去だけでなく返還に導く取り組みが進んだことを確認しました。引き続き管理をお願いします。

▽食の創造館別館の完成は、食べ盛りの子を持つ家庭には悲願の事業だと思います。アレルギーに理解を示して対応していただけることに感謝し、今後も常に情報をアップデートして、安全でおいしい給食の提供をお願いします。

▽生活習慣病検診事業では、がん検診の受診率向上に向けた取り組み、特にセプト検診を取り入れて乳がん検診を毎年受診可能とした点を高く評価します。受診率向上のためにPR活動をさらに強化することをお願いします。

▽国際化政策事業では、市内の外国籍の方々が安全安心に生活できる取り組みがされ国際化社会への対応が進んでいます。防犯や防災面も考える必要があります。そのデジタル化なども国際対応していただきたいと思っています。

▽駐車場の整備事業では、駐車料金が市民の利便性向上のために使われたことを確認しました。利便性の向上には利用者の声の収集が重要だと思います。安全性が最も求められる駐車場の整備や管理を適切に行ってください。

▽子ども医療費助成の対象年齢拡大をはじめ、多くの子育て世代に寄り添う事業の実施を評価します。

▽発展する海老名市において、これまで海老名を愛し住んでいた市民の声も幅広く聞いていただき、これまで以上に住みやすい海老名となる取り組みをお願いします。

